特117
12

801
379

始

高山溪谷

善鳴

大正
2. 3. 18
内交

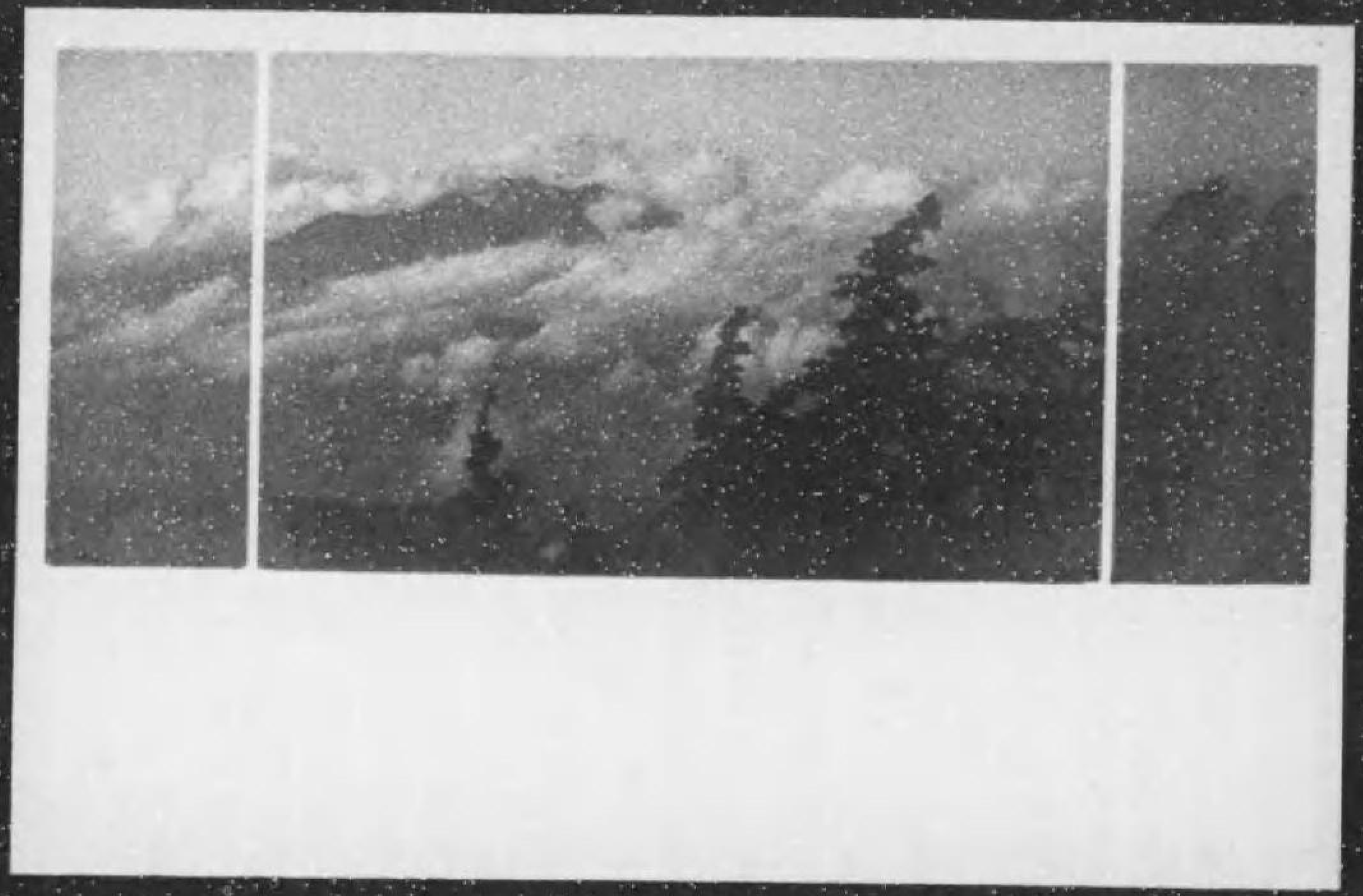
特117
12

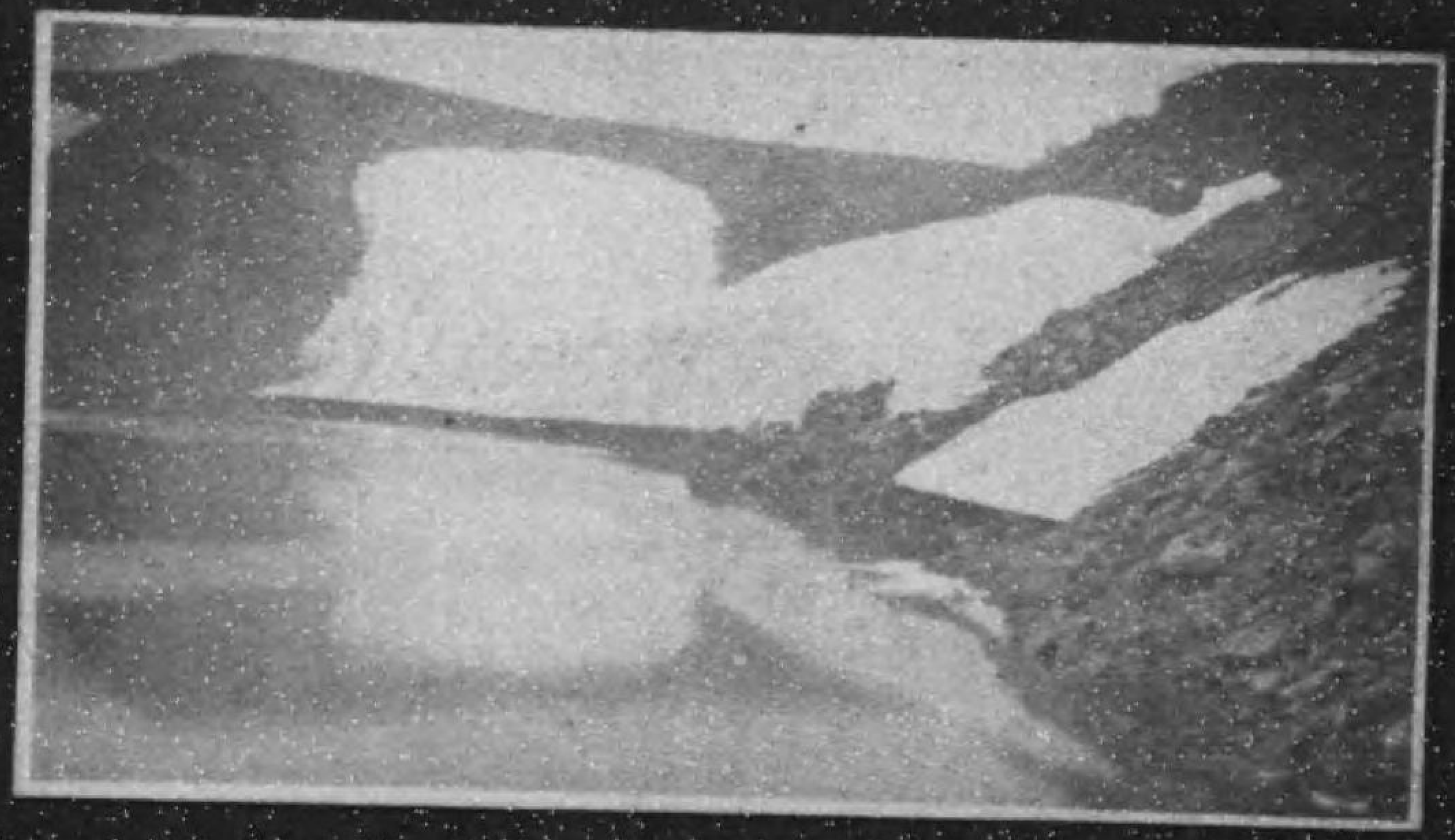
高山深谷

第四輯

目次

風	近藤光吉氏	一
暑夏の雪	仝上	二
群巒の王	仝上	三
戰場ヶ原の夕	仝上	四
青き水	三枝威之介氏	五
五色ヶ原	辻村伊助氏	六
梅花藻	仝上	七
高原の雲	仝上	八
凍れる沼	仝上	九
劍ヶ岳	高野鷹藏氏	十
一万尺の峰頭	仝上	十一
山湖の雨	仝上	十二





301
379

大正二年二月廿八日製作
仝　年三月　三日発行
▲編輯・製作・発行者▲
横濱市本町四ノ六七
高野鷹蔵
▲発行所▲
横濱市本町四ノ六七
日本山岳会

高山深谷第四輯

説明書

301
379

日本山岳會

大正二年三月三日

高山深谷 第四輯說明書

日本山岳會發行

大正
2. 3. 18
内交

印畫目次

一、風……近藤茂吉氏撮影
二、暑夏の雪……同上
三、群巒の王……同上
四、戰塲ヶ原の夕……同上
五、青き水……三枝威之介氏撮影
六、五色ヶ原……辻村伊助氏撮影
七、梅花藻……同上
八、高原の雲……同上
九、凍れる沼……同上
十、劍ヶ岳……高野鷹藏氏撮影
十一、一萬尺の峰頭……同上
十二、山湖の雨……同上

例言

本輯卷を重ぬる事四、毎輯多大の好評を得るは、各印書の撮影者諸君が、貴重なる原板を貸與せらるゝと同時に本輯編纂に就て多大の援助を附與せらるゝ諸君の賜物なりと云ふべし。

本輯十二葉の印書は、未だ公にせられざるものゝみにして、何れも、撮影者諸君の困苦と精勵に由て成れるものなり。第四輯を發行するに當りて、武井眞澄氏、中村清太郎氏、近藤茂吉氏は裝釘に就て多大の助力を與へられたり、記して感謝の意を表す。

大正二年三月

編纂者識

一、風（駒ヶ岳より八ヶ岳を望む）

近藤茂吉氏撮影

全山、風伯の占むる所となり、足下に横る、草も、頭上に聳ゆる、巨木も、搖るぎに搖るぎて、平座の象徴たる、山岳も、爲めに、裂るか、覆るかと思はるゝ、駒ヶ岳途上の屏風小屋の附近にて、烈風に吹いては飛び、ちぎれては去る、雲に包圍され、雲の重圍に襲るゝ、八ヶ岳を遙に望む、其心地は。

大正元年十一月十四日午後四時晴、

（鏡玉） Goerz Dagor III (210 m.m.) F. 16（絞）（露出）二分一秒五倍スクリーン

使用（乾板） Agfa Chromo Isolar（現像液）沒食曹達

（使用印畫紙） Wellington Soft Cream Chamois.

二、暑夏の雪（立山別山のカール）

近藤茂吉氏撮影

夏尚ほ寒き岳の雪、山を飾る唯一の裝飾は、殘れる雪なり、雪によつて、飾られざる山は、磨かざる玉、粧ざる乙女の如き、緣なす山も、雪白き、頸飾ありて、其美をなす、遠く望める、岳の雪は、斯く美しく、近く眺むる時は、其位置に其面に、物理的に地學的に、自然の偉力の働きつゝあるは、面白き事にあれ。

明治四十五年七月廿四日午後三時晴、

（鏡玉） Goerz Dagor III (210 m.m.)（絞）F. 16（露出）二十分一秒、五倍スクリーン使用（乾板）Paget Panchromatic plate.（現像液）Glycin Stand Development.

（使用印畫紙）Gevaert Rough matt Gasright paper.

三、群巒の王

近藤茂吉氏撮影

奥穂高岳より槍ヶ岳を望む、日本アルプスの脈管は、槍ヶ岳を心臟として、四方に無數の血脈を派す、槍ヶ岳は突兀天に柱し其左方に立山の雄姿あり、遠く、山波を寄るは白馬、鹿島槍ヶ岳なり、針木岳、針木峠、蓮華岳を圖の中央に望む。

大正元年八月五日午前八時晴、

（鏡玉） Goerz Dagor III (210 m.m.)（絞）F. 16（露出）十分一秒五倍スクリーン使用（乾板）Lion Non-Filter Backed（現像液）沒食曹達

（使用印畫紙） Cyko Platt.

四、戰塲ヶ原の夕

近藤茂吉氏撮影

昔むかし、上州赤城の神と、野州男體の神と、戰ひて、緑なす、草も、茜色と變りたりと昔語りに傳へらるゝ、戰塲ヶ原の夕は、靜寂にして、玆に屯せる神々の、さゝやきも、耳底に響くかと思はるゝに、日は落ちて、山々は黑髪の如く、世を呪ふ魔女が、振り亂す、きぬずれの音かと思ふ、風なきに、動く、枯尾花も、いと哀れに悲し。

明治四十四年十一月四日午後五時晴、

(鏡玉) Goerz Dagor III (210. m.m.) (絞) F. 6.8 (露出) 一秒五倍スクリーン使用

(乾板) Agfa Chromo Isolar. (現像液) 沒食曹達

(使用印畫紙) Artura Iris C.

五、青き水（志村氏の云ふ五郎の池）

三枝威之介氏撮影

(山岳第三年第二號日本アルプス縦走記(志村寛氏)抄錄以て說明に代ふ)

五郎岳頂上附近は、全山樹木を見ず、高瀨川に面せる方面は絕幛をなし、黑部に向ふ裏面は、傾斜稍々緩かであるが、所々矗々たる怪岩が突起して居る、氣壓計は三千百米突を指示して居るが之れは少し高過ぎる樣だ、自分は黑部川の谷の方面に向つて、一小瀦を發見した、大部分は雪を以て埋められて居る、併し今少し雪が尠なくなつたならば的皪たる一の明鑑となるであらう、自分は之れに五郎の池と命名した。

明治四十五年七月　日

(鏡玉) Goerz Dagor II.

六、五色ヶ原

辻村伊助氏撮影

佐良峠を南に走る山上に神苑あり、朝宵の雲に五彩の山草亂れ、燕あり冷風に飜て飛ぶ、名づけて五色ヶ原と云ふ、北は立山に南は雪斜めなる奥大鳶の尾根より越中澤岳を經て、遠く藥師岳につらなる、この間三日にして達すべし、畵中右なるは奥大鳶、左なるは越中岳、中央遠く雲の間に藥師を望む。

明治四十五年七月三十日午後二時三十分曇、

(鏡玉) Zeiss 7A Double Proter 3×2. (絞) 17 m.m. (露出)二十五分 1'三倍スクリーン使用 (乾板) Lion Non-Filter. Backed. (現像液)沒食曹逹

(使用印畫紙) Artura Carbon green.

七、梅花藻

辻村伊助氏撮影

神河內の田代の池をへだてゝ、西に燒岳を望む、沼は白き梅花藻を浮べて、靜かに、暗き林の蔭に眠りたり、東、霞ヶ岳の落ち水を合せて、ひそやかに此の溪間に。

大正元年八月十日午前十時二十分晴、

(鏡玉) Zeiss 7A Double Proter 3×2 (絞)明放 (露出)十五分 1'三倍スクリーン使用(乾板)Lion Non-Filter Backed (現像液)沒食曹逹

(使用印畫紙) Wellington Hard white Chamois.

八、高原の雲

辻村伊助氏撮影

五月雨の後、赤城新坂の平より、東に遠く黒檜を望む、原は右、地藏より左鈴ヶ岳に至る凹所にして、前橋より道の長きにつかれたる後、仰ぎたる夕雲なり。

明治四十四年六月三十日午後五時發、

(鏡玉) Zeiss 7 Proter 3 三倍スクリーン使用(露出)五分一。

(使用印畫紙) Paget Rough Bromide.

九、凍れる沼

辻村伊助氏撮影

暮に降りし大雪は、沼の氷に積れるまゝ、風もなき赤城の頂は、初春の日に照らされて、眩むばかりに、かゞやきたり。沼尻に近き牧場の柵より湖をへだてゝ黒檜の絶巓を仰ぐ。雪に埋れし梢は檜、白樺、空は黒きまでに碧深くこの白き世界をぞ、覆ひたる、浮べる雲は一片もなくて。

大正二年一月二日正午快晴、

(鏡玉) Zeiss 7A Double Proter 3×2 (絞)明放(露出)廿五分一、スクリーン使用

(乾板) Paget Orthocromatic Plate (現像液)浸食曹達

(使用印畫紙) Gavaert Corse Grain gasright paper.

十、劍ヶ岳（立山大汝附近より望む）

高野鷹藏氏撮影

近年愛山家の焦點となりしもの實に此山なり、怪峻なる峰頭幾多の秘密を藏したるかの如き奇しき怪峯、天を摩するもの、越中の劍ヶ岳なり。圖の右端、峰頭に小祠あるもの此れ大汝にして遥に遠く雲間に隱現するもの、白馬連山とす、劍岳の下部殘雪、多きものは、眞砂岳にして、其尾根延びて別山となる、左端に遠く聳ゆるもの、瀧倉岳なりとす。

明治四十五年七月廿四日午前十一時晴天、

（鏡玉）Zeiss BII Tesser 5A（絞）十一密米（露出）三十分一秒、四倍スクリーン

使用（乾板）Wellington Anti-Sereen（現像液）沒食曹達

（使用印畫紙）Cyko Studio

十一、一萬尺の峰頭（立山大汝より雄山を望む）

高野鷹藏氏撮影

立山神社の奥社を雄山とす、頂上に立山神社の祠あり、其脈延びて南北に連る、北すれば、大汝、富士折立、眞砂、別山等となり劍ヶ岳に連る、南すれば淨土、龍王となり更に、佐良越に續く、印畫は大汝より雄山を望めるものにして、圖の右端に兀立せるは龍王岳にして中央其峰頭に祠あるは雄山とす。

明治四十五年七月廿四日午後十二時三十分晴天、

（鏡玉）Zeiss BII Tesser 5A（絞）十密米（露出）三十分一秒、四倍スクリーン

使用（乾板）Wellington Anti-Screen（現像液）沒食曹達

（使用印畫紙）Cyko Buff.

十二、山湖の雨（立山、御厨池）

高野鷹藏氏撮影

立山山中には數多の山湖あり、何れも舊噴火口にして、深淵なるあり淺きあり、何れも、奇怪なる、傳説を有す、中に就て御厨池（クリガイケ）を最大にして、最も深し、圖は細雨霏々として、降れる時に、撮影せるものにして、雨中山湖の靜寂なる氣分を現さんとせりと雖も凡技、よく其神を顯す能はず。

明治四十五年七月廿五日午前十時雨、

（鏡玉）Zeiss BII Tesser 5A.（絞）十一糎米（露出）二秒四倍スクリーン使用（乾板）Wellington Anti-Screen（現像液）沒食曹達

（用紙）Artura Iris E.

意匠目次

表紙……………（海馬の床革）…………燒印

銅印意匠…………（山鉈に熊）…………武井眞澄氏

銅印鑄造……………………………………香取秀眞氏

タイトルページ…（木綿）……………更紗風印刷

意匠……………（さんしよの魚）…中村清太郎氏

目次……………（上海九華堂監製玉版牋）…石版

意匠…………………………………………中村清太郎氏

外箱……………（杉板）……………刷り込み

意匠…………………………………………高野鷹藏氏

301
379

終